

■2022年度B日程 一般入学試験

「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

著者が指摘する従来考えられてきた防災のあり方の問題点及び個々人の意識変化やコミュニティの重要性を踏まえて、防災にとって重視すべきこと及び具体的方策を考察させたうえ、自分の考えを論理的・説得的に論述できるかを問うものである。受験者には、法曹を目指すために必要な読解力、考察力、そして、論理的な文章表現力を求めている。

【解説】

1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されているところ、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中や余白に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書いたりするなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

2 〔問〕について

筆者は、日本における現今の防災の考え方は、依然として「自然に抗う防災」という発想に支配され、また、「災害制御可能観」に囚われているとされ、このような考え方を基礎とした科学技術によりリスクゼロを目指すという災害への向き合い方は、物理的安全性に関して行政に対する住民の依存心を強固にするだけで、意図した災害被害をゼロにする目的は達せられないという問題点が指摘されている。筆者は、自然の脅威には抗えない現実を受け止める「諦観論」を前提に、主体的な自助、共助が可能な地域コミュニティを再生し、住民の防災に関する主体性を取り戻すことが重要であり、そのためには、住民の意識の変容の結果として、主体的に「逃げる」「備える」ことを意識した行動の変容が不可欠であると論じている。このような筆者の見解を踏まえたうえで、例えば、住民の意識を変えていくにはどのような方策が考えられるか、また、防災のための行動変容を動機づける社会的統制はどうあるべきかなど、防災のあり方について自由に検討し、論じることが求められる。

以 上